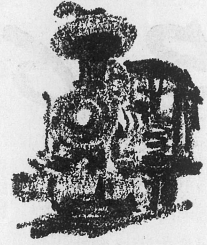


鉄道ピクトリアル

1956年10月号

Vol. 6 No. 10



表紙「俱利伽羅越え」……………鈴木靖人
グラフィック

わだいのくるま

<名古屋市電NSL車>……………鈴木正…4

トピック
フォト
 { 阪急宝塚線1200形・京都市営地下鉄
 最初の電機試験運転列車・京阪の
 空気バネ試験車・近鉄南大阪線改
 造車 } ……43

フォトレポート

<土讃線DF40試運転>……………西尾源太郎…33

張碓隧道を出る義経号……………木村恒興…25

ありし日のB6をしのぶ……………岩崎輝彌・白井茂信…26

B6なお活躍……………小田宏樹…28

From my photo-album ………………弓削進…30

(誕生50年目の国電・鉄道草・博多の夕
暮れ・デッカーの身延参り)

30年度国電更新車……………田辺幸夫…32

記事

今月の話題「私鉄空前の高速度試験」……………5

B6物語……………成田松次郎…6

日本向ヘンシェルDタンク機関車……………高田隆雄…19

趣味から見た鉄道書……………川上幸義…10

二百万人の電車(2)……………弓削進…13

新橋駅<あの駅・この駅>〔10〕……………杉田徳四郎…17

木製国電略史〔終〕……………寺田貞夫…20

鉄道の話題……………24

名古屋鉄道①私鉄車両めぐり(27)……………渡辺肇…34

北松本電車区 電車区通信(8)……………丸山斌…38

陽・陰を結ぶ

〔快速〕ちどり号の7時間……………岡考樹…40

質問に答える……………44

読者短信……………46

〔解説〕NSL車完成……………鈴木正…48

車両の動き……………49

新駅開業・後部車から……………50

附録

鉄道用語小辞典 (13)

今月の話題

私鉄空前の高速度試験

私鉄経営者協会技術委員では、昨年末高速度運転調査委員会をもうけ、その第1回高速度運転調査中央委員会で方針を決定し、その第1着手として、先に昭和28・29両年度に亘ってTREA(日本鉄道技術協会)で行った120キロ試験の結果について試験担当者から説明を聴取準備を進めてきたが、今回が中心となり、運輸技術研究所・国鉄技術研究所および東京大学の協力を得て、東武鉄道東上線において実施の方針を高速度運転調査関東地方実行委員で決定、8月13日から30日までの10日間私鉄業界空前と評される大がかりな試験を行った。

試験車両はツリ掛式として東武鉄道モハ5320形、平行軸カルダン式として同社のモハ1700形が使用され、前者は13・14・16日の3日間37と50キロレール区間で85キロまで、後者は20・21・23・25・27・28・30日の7日間、37と50キロレール区間でそれぞれ120キロを出し、

道床振動、レール垂直圧力、レールの横圧、制動距離、パンタの離線率、台車の振動、車両の横圧など詳細に測定された。

最近国・私鉄のスピードアップ競争は殆んどその限界に近づいたようで、国鉄が現在より少しでも早くなれば私鉄は直ちに“お手あげ”の段階に来たともいわれる矢先、これが成行には興味が持たれる。私鉄車両は戦後各社間において猛烈な旅客誘致合戦を展開した結果、大手各社はもちろん、地方私鉄においてもかなり優秀な車両を新造しているが、スピードアップは車両の改良とはちがいが、施設・電力・車両の3者の総合力を結集しなければならぬところに、私鉄としての悩みが残されるだろう。

表紙	「俱利伽羅越え」	鈴木靖人
	昭30.5.2 石動—俱利伽羅間にて	
3頁	「立秋」 昭31.8.9	高見久雄
	近鉄名古屋線名古屋駅行「あつた1号」	
25頁	「張碓隧道を出る義経号」 昭31.6.19	木村恒興